

2009年度

科目名	地理学B		
担当教員	阪野 祐介		
配当	文財1・人社1	コード	43850
開期	後期	講時	木曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	地球上の様々な現象を環境、地域、景観から考える。		
目的と概要	地理学の目的とは、環境や地域、景観を通して、地球上で起きている諸問題を解決するための糸口を提示し、人類の平和を希求することといえます。この授業では、人文地理学の歴史や研究方法論、概念についての知識を習得し、地球上で起こる諸現象の地理的特徴や法則性を発見し解釈する力を身につけることを目的とします。		
成績評価法	試験および平常点(授業態度・ミニレポート)により、知識の理解度や知識の応用力を評価する。 試験(60%)＋平常点(40点)		
テキスト	特に指定しない。		
参考書	授業内において、適宜プリントの配布および参考文献の紹介をする。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 民俗の地理学(1) 日常生活の中の地域文化を見つけ出そう。 2. 民俗の地理学(2) 民俗行事と場所はどのように関係しているのだろうか。 3. 政治の地理学(1) 政治と地域・環境・景観はどのように関係しているのか。 4. 政治の地理学(2) 景観とイデオロギーがどのように関係しているのか。 5. 政治の地理学(3) さまざまな場所には隠れた意味がある。 6. 民族の地理学(1) 国家と民族、エスニシティについて考えよう。 7. 民族の地理学(2) 都市と民族、エスニシティについて考えよう。 8. 民族の地理学(3) 地域社会とエスニシティについて考えよう。 9. 環境問題(1) 世界で現在進行している環境問題を知ろう。 10. 環境問題(2) 身近な環境問題を考えよう。 11. 宗教の地理学(1) 宗教を分布から読み解く。宗教の空間構造の形成過程を探る。 12. 宗教の地理学(2) 宗教を地域社会から読み解く。人びとは宗教をどのように受容するのだろうか。 13. 宗教の地理学(3) 宗教と国家について考える。宗教的行事にも政治的意図が見え隠れする。 14. 宗教の地理学(4) 聖なる空間の形成について考える。 15. まとめ 			